

大学生との意見交換について

「副首都ビジョン」のバージョンアップに向けた意見交換会において、有識者メンバーから「若者の意見も聞くべきではないか」との提案があったことを踏まえ、第4回意見交換会で、副首都推進局が実施している「『副首都・大阪』大学連携プロジェクト」の研究・プレゼンテーション事業に参画いただいている大学生と有識者メンバーとの意見交換を実施。

■ 実施概要

(1) 実施日

2022年3月17日（木）（第4回「副首都ビジョン」のバージョンアップに向けた意見交換会）

(2) 参画いただいた大学生

追手門学院大学、大阪経済大学、慶應義塾大学の大学生5名

意見交換会での大学生の主な意見

■ 大阪の強み、イメージ

- 大阪は、交通面の便利さが特に目立っていると感じる。
- 地理的に日本の中心にあり、どこにでも行きやすいということは、大阪に就職するうえでの利点だと考えている。
- 京都や神戸といった観光名所が周辺地域に多く、アクセスしやすいところが強みだと感じる。
- 周辺山系など、思ったより自然が豊かであることと、街並みがきれいといった都会の面、両方あることが強みと思う。
- 大阪の人は、明るい性格で、楽しいものや正しいことに、はっきりと意思表示をしてくれて、積極的に参加してくれる人たちが多い印象がある。
- 大阪の魅力は、他の地域ではあまり発展していると思えない、笑いの文化が盛んであること。
など

■ 大阪の経済について

- 最近の大阪経済は、上り調子と思っている。
- 新しく、前に前に取り組んでいくという姿勢が、ここ数年の大阪には見受けられる。
- 大阪・関西万博やI Rの誘致などを通し、大阪を盛り上げていこうとする姿勢を感じる。
- 経済が後退まではしていないが、コロナ禍で資金繰りが悪化した中小企業など、負の側面があるのではないかという印象。
- 中小企業の後継者不足を考えると、今後経済が下がってしまう可能性が考えられるのではないか。
など

	意見・問題意識
日本経済の低迷	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>日本型雇用慣行（終身雇用や年功序列）</u>が一番大きな要因ではないか。ひとつの会社に長く定着するシステムは、人に慣れを生じさせ、職場の固定化や緊張感の不足につながり、結果的に職場の多様性や労働生産性に影響すると考える。 ○ 政府の過度な支援にも要因があるのではないか。2021年の企業倒産件数は前年よりも減少しており、<u>市場から退出すべき企業が市場に残っている</u>と考える。 ○ 職場の多様性の観点^が欠如しているため、外部からの新参者に対して排他的な傾向にあり、<u>労働市場の流動性が高まらない</u>ことが要因にあるのではないか。
日本経済の将来に対する不安	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>少子高齢化による社会保障の問題</u>はもとより、先行きの不透明さが不安。 ○ <u>赤字体質から脱却できない財政収支</u>に不安を覚える。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、さらに悪化した財政収支を今後どのように改善していくのか。 ○ 日々変化していく社会についていける<u>人材の育成</u>ができていけるのかが不安。
労働市場の流動性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現状は過度に<u>流動性が低い</u>と感じる。 ○ <u>中途採用がされにくい環境</u>を改善する必要があるのではないか。企業においてリスクリテラシーやリカレント教育を進めるなど、社会人がスキルアップできる環境整備を進める必要があるのではないか。
働き方・就職に対する価値観	<ul style="list-style-type: none"> ○ プライベートを圧迫することがない限りは、<u>働き方に特別なこだわりはない</u>。公私の分別は、仕事の効率を向上させ、企業にとってもプラスになると考える。 ○ やりたいことのためには、転職も視野に入れる。<u>転職は、スキルを身につけるための一つの手段</u>と考える。 ○ 就職では、<u>自分がやりたいこと、成し遂げたいことなどを重要視</u>している。 ○ <u>起業やスタートアップなどへの就職も関心</u>はあるが、何をすればよいのかや、チャレンジをして失敗したときのことなどが不安。起業やスタートアップのことを知るための講座などがあればハードルは下がる。

	意見・問題意識
職場の ダイバーシティ (多様性)	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>女性でもチャレンジできる環境整備</u>をしてほしい。例えば、フレックスタイムを導入し、育児を行 いながらチャレンジできる環境や、男性の育児休暇取得率の向上と制度設計の見直し、平等に能力で扱われる企業形態を作るなど。 ○ 職場から離れた女性が安心して職場に戻ってこられるような、<u>育児に関する制度をより充実</u>させてほしい。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球規模で環境問題が日に日に深刻さを増していることもあり、経済成長にとって環境問題の解決は切っても切れない関係と考える。<u>SDGsなど、環境問題への取組みを示す企業に対しては、ポジティブな印象を感じるため、環境問題の解決は、経済成長にとっても重要ではないか。</u>
DX	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>行政のDXから取り組むべき</u>ではないか。行政は、様々な業種と接点があるため、行政機関のDXを目の当たりにすれば、各分野でDXの意識が芽生えるのではないか。 ○ <u>住民の利便性向上に重点を置く必要</u>があるのではないか。そうすることで、DXの活用によって得られる恩恵を住民の方々が実感でき、オプトイン型のDXを進めやすくする土壌が形成されるのでは。 ○ 災害に強いまちづくりからDXを導入し、<u>災害レジリエンス</u>を高めてほしい。
今の大阪に あるもの	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>活気がある</u>と感じる。 ○ <u>魅力ある人々</u>（あっけからんとした豪放さや、ノリの良さ、明るい性格で、はっきりと楽しいものや正しいことには積極的に賛成を示し、参加してくれる、など） ○ 国内でも東京に次ぐ2番目の<u>経済規模</u>を有し、多くの<u>中小企業が存在感</u>を示しているように感じる。加えて、おいしい食べ物が多くあり、京都や神戸といった観光地にも比較的気軽に足を運ぶことができるなど、<u>「職住遊」の環境が整っている</u>と感じる。
今の大阪に ないもの	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>人口が不足</u>していると考える。 ○ <u>日本の主要機関が足りない</u>のではないか。 ○ 「副首都ビジョン」をはじめとした各種政策について、東京を追いかけている印象で、<u>「大阪らしさ」が欠如</u>しているように感じる。